

世界と響き合う 色彩

令和6年12月20日発行・発売（毎月20日発行・発売）
第44巻第1号通巻516号
昭和57年6月9日第三種郵便物認可

美術の窓

1

January

2025

No. 496

THE WINDOW OF ARTS



世界と響き合う 色彩

色彩の本質に迫る 岡崎乾二郎

技法講座 厚い絵肌とコラージュで表現する日常の静物〈前編〉美齊津匠一 公募展便り 立軌展・都展・日展
太陽美術展・新芸術展・JAG展・中美展・現代童画展・群炎展・清興展・日本版画会展・近代日本美術協会展・日輝展・現創展



「松迎え秋惜しむ」

2024年 アクリル、和紙 114×146cm

智内兄助

ちないきょうすけ 1948年愛媛県生まれ。東京藝術大学大学院修了。安井賞など数々の賞を受賞。世界のコレクターを魅了している。

information 桜満載（3月29日～4月27日・ギャラリーためなが京都）、個展（2026年秋・ギャラリーためながパリ）

金箔は色彩というものを捨てている。絵具としての。金箔がやるべき仕事はもっとスピリチュアルな別の所にある。

例えば、その光が超色彩的であるが故に融通無碍な神仙世界に誘ってくれたり、幽遠の画境を垣間見せてくれる。

奇想と異風の風を吹かせてくれる。「松は神が天降ることを待つ樹である」という。その予感金箔の光の中にある。